

第6回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和5年7月18日（火）19時-20時30分 姫路市総合福祉会館



リハ職が書いた情報提供書（リハビリテーション計画書）をケアマネジャーとリハ職と一緒に読み取ることで、
《ケアマネ》生活機能の今後の可能性（将来予測）や、生活上の注意をどうやって確認するか
《リハ職》情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。
第6回は、ケアマネジャー18名、リハ職25名が参加されました。

今回は、作業療法士会より「社会参加の場に一步踏み出せない脳梗塞後遺症の事例」の提供（リハビリテーション計画書をご作成）をいただきました。9つのグループに分かれて話し合いを行いました。計画書に記載された情報で分からない事などを聞き合いながら、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ～グループ発表のご意見より～

- ・《ケアマネ》終了目安が分かるとケアプランの目標に活かせる
→《リハ職》今後の目安（リハビリの卒業や目標達成できる見込み）を具体的に記載することが必要
- ・《リハ職》本人・家族の希望についての情報は、計画書の目標設定に活かせる
→《ケアマネ》本人・家族の希望の内容を、具体的に記載して情報共有する

《参加者アンケート 回答（一部抜粋）》

- ・リハビリテーション計画書の読み解き方が理解できたと思います（ケアマネ）
- ・どのような情報が有用か、どこをリハ職に伝えなければならぬかが理解できた（ケアマネ）
- ・具体的に目標を設定することの大切さを感じました（そのためにはアセスメントが大事）（ケアマネ）
- ・リハ職の方と知り合いが増え、ネットワークが広がった（ケアマネ）
- ・なぜこのような評価をしたか、なぜあのような訓練を選択したか、など理由をストーリーにしたいと思う（リハ職）
- ・わかりやすい言葉で具体的に記載しようと思った / 評価項目やリスクなど詳細に記載する（リハ職）
- ・立ち上がりの評価について、イスやベッドからが前提で行われていること。床からの立ち上がりは別扱いで、転倒など不測の事態への対応も評価に入れても良いのかなと思った（リハ職）

次回の「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は11月2日（木）開催予定です
今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます